

# もちづき

出願番号：第9796号	三宅正則 木原武士 八重
出願年月日：平成9年4月11日	垣英明 朝倉利貞 鈴木勝
出願者：農林水産省果樹試験場 (茨城県つくば市藤本2-1)	来歴：「153-5」と「139-28」の交 雑実生
育成者：吉田雅夫 京谷英寿 山口 正己 小園照雄 中村ゆり	育成地：茨城県新治郡千代田町(農 林水産省果樹試験場)
西村幸一 土師岳 福田博 之 田中敬一 石川祐子	

## 特性

### ■栽培特性

樹姿はやや直立性を示すが、枝梢はやや細く結実により側枝は下垂しやすい。樹勢は強い。新梢は発生が多く、細く、長い。花芽の着生は多く、複芽を着生する。花は普通咲きで花粉を有し、自家稔性である。

開花期は「あかつき」の4～5日後であり、育成地において4月中旬となる。収穫期は「あかつき」の10日程度後であり、育成地において8月中旬となる。満開から成熟までの日数は111～120日の範囲になる中生種である。落葉は「あかつき」よりも1週間程度遅い。

### ■果実特性

果皮の地色は乳白色である。無袋栽培でも着色を全くしないので果実の外観も乳白色となる。果肉も乳白色で、果肉内および核周囲の紅色素は全くない。無袋栽培でも果皮および果肉に紅色素を持たないことが本品種の最大の特徴である。

果形は扁円で、縫合線の深さは赤道面で浅く、果頂部では中程度である。梗あは深く狭い。果実の大きさは200g程度、果肉の粗密はやや密で半不溶質である。核は粘核である。裂果の発生は見られず、核割れ果の発生は少ない。果実糖度は10～12%程度で「あかつき」よりもやや低い。酸味はpH4.5～5.0で少ない。

本品種を原料に用いた缶詰製品は優れた色調となり、適度な硬度を持つので優れた缶詰適性を有する。

### ■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

病虫害抵抗性は他の品種と大差がないことから慣行の防除でよいと思われる。

果実梗あが深く狭いことから、結果枝の圧迫痕の発生が予想される。対策としては短果枝への着果が有効であると考えられる。花粉を有し、自家稔性なので、着花過多によって小玉にならないように適正着果を心がける必要がある。

収穫期の判定は、着色を全くせず、肉質が不溶質で熟してもやや硬めであることから、地色の抜け具合を見て行う。

### ■地域適応性

東北地方から九州にかけてのもも栽培地域で栽培が可能である。特に従来「大久保」を缶詰原料として栽培してきた山形、福島、岩手などの地域で、無袋栽培ができる白肉缶詰品種としての普及が期待される。

(八重垣英明)